

7/1 2年ぶりの岩手山山開き 登山シーズンを迎え安全を祈願

岩手山（2,038メートル・日本百名山）が山開きを迎えました。2024年10月に噴火警戒レベルが引き上げられ、入山が規制されて以来2年ぶりとなる山開き。御神坂登山口で行われた神事には猿子町長をはじめ山岳関係者らが集い、今シーズンの山の安全を祈願しました。

滝沢市および八幡平市との合同記念登山は3年ぶりの実施。山頂で合流した3市町は、恒例のピッケル交換や万歳三唱を行い、登頂の喜びを分かち合いました。

岩手山の西側は現在も入山規制が続いています。今後の火山情報に気を付けるほか、十分な安全対策と無理のない計画で登山をお楽しみください。



▲3年ぶりのピッケル交換で喜びを分かち合いました



▲足元を確認しながら一步一步頂上を目指す参加者ら



▲山岳関係者らが山の安全を祈願



▲岩手日報零石センターの細川所長（左）と同小岩井センターの道又所長（右）

6/26 岩手日報販売センターと協定締結 地域の見守りを強化し地域福祉の向上を図る

町は、岩手日報零石センターおよび同小岩井センターと「地域における見守りに関する協定」を締結しました。

協定は、両センターの従業員が配達や集金業務などを行う際に道路の損傷や異常、不法投棄など、町民の生活に支障をきたす何らかの異変を発見した場合に町へ連絡し、連絡を受けた町が必要に応じた措置をするもので、地域福祉の向上が期待されます。



思いやりの心を育む「人権の花運動」の花植え作業が町内小学校で開催。児童らは協力しながら色とりどりの花を定植しました。



未来のハンター育成研修会が開催され、町内在住の5人が参加。講話や射撃の見学会が行われ、狩猟への理解を深めました。



第2回いわて零石トライアスロン大会が県営屋内温水プールを主会場に開催。悪天候の中、参加した80人の選手らは力強くゴールを目指しました。

6/29

みんなの願いが叶いますように 御明神小児童が七夕飾りを製作

御明神小学校（菊池昌典校長、児童数 58 人）の 1・2 年生 15 人が、雫石商工会女性部（櫻粧節子部長）とともに、恒例となった「七夕」の短冊の飾り付けを行いました。

用意された全校児童分の短冊には「家族が健康で幸せでいられますように」「服屋さんになりたい」といった思いの願いが。飾り付け終了後は、童謡「たなばたさま」をみんなの願いが叶うようにと元気に歌いました。



▲楽しみながら短冊をくりつける児童ら



▲パイロットと航空管制官の交信を体験

7/16

子どもたちの未来を切り拓く力を応援 ANA キャリア教育プログラム「ミライつく〜る」

御所小学校（高橋雄賢校長、児童数 74 人）で、ANA グループによるキャリア教育プログラム「ミライつく〜る」が開催されました。現役のパイロットやキャビンアテンダント、整備士らが講師を務め、5・6 年生 28 人が参加。職種に分かれてワークや仕事体験をした児童らは「お客様を安全に送り届けるため、色々な仕事をチームとして取り組んでいるのがわかった」と、自分たちの未来を考えるきっかけとなりました。

7/30

森のしずく公園で献花・拝礼 事故犠牲者162人の冥福を祈る

町上空で全日空機と自衛隊機が空中衝突した「雫石事故」が発生した 7 月 30 日、森のしずく公園で献花・拝礼（一般財団法人慰霊の森主催）が行われました。事故発生から 55 年目となる今年の式典には、財団関係者や遺族、全日本空輸（株）や富士市関係者らのほか、富士市・雫石町少年交流事業に参加している小学生約 60 人も参列。犠牲者 162 人の冥福と空の安全を祈りました。



▲献花・拝礼する富士市の児童ら

7/2



雫石中学校で租税教室を開催。税金を使って新しい街を作るワークや税金にまつわるクイズを通し、学びを深めました。

7/1



東北紙器（株）（結城剛之代表取締役社長）が「段ボール製さんさ太鼓」を作成。「天瀬さんさ伝承会」の子どもたちによる体験会が行われました。

7/1



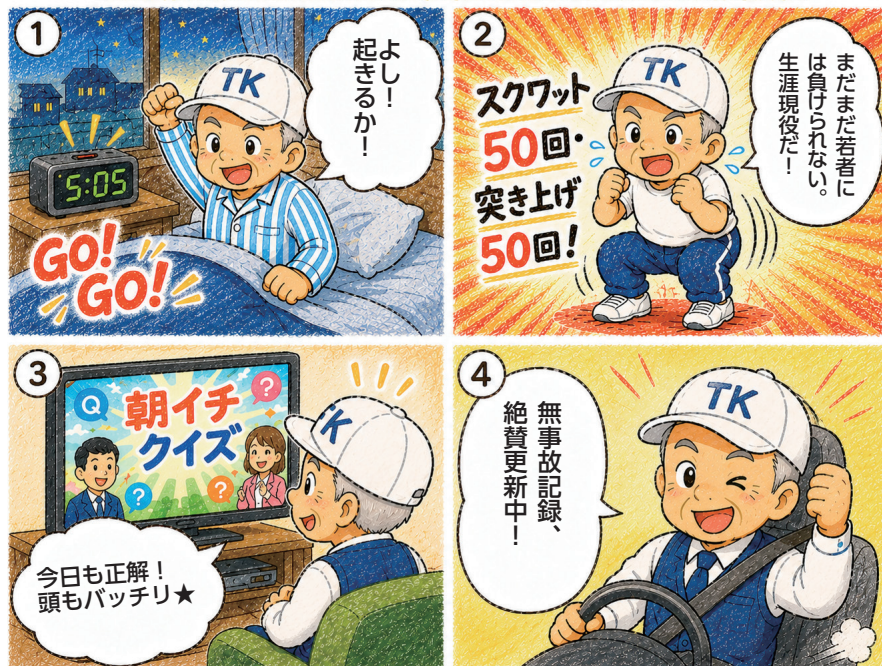
町保護司協議会南野久晃会長らが「社会を明るくする運動」推進のため来庁。猿子町長へ総理大臣からのメッセージを伝達しました。

RUN! あねっこバス!



町を走るあねっこバス。その運転席には、いつも頼もしいドライバーさんがいます。そんなドライバーさんたちの人柄やエピソードを、4コマ漫画とともにご紹介していきます。2カ月に1回、全6回(予定)。どうぞお付き合ってください!

朝5時5分、TKさんの一日



※このイラストは生成 AI により作成しています。

【予約】

問 予約センター ☎ 692-6323

○ 受付時間

平 日 ▶ 8時～17時

土 日 祝 ▶ 8時～16時

【その他のお問い合わせ先】

問 NPO 法人しずくしい・いきいき暮らしネットワーク ☎ 691-1800



路線図・時刻表



便利な LINE 予約はこちら (町民限定)

【あねっこバス出張説明会実施中!】

お気軽にお問い合わせください。問 総合政策課政策推進係 ☎ 692-6409

あとがき

●昨年度はスタッフとして従事した消防フェスティバルに、今年度は広報担当として参加しました。暑い中、将来を担う子どもたちへ、カッコいい姿を見せる消防関係者の姿に感動しました。参加した子どもたちの中から、いつか地域の安全を守る防災関係者として活躍してくれる人が出てきてくれたらと思いました。(横)

●2年目の消防フェスティバル。今年ははしご車や地震体験車が来場し、昨年よりも盛況だったと思い返しながらあとがきを書いていると、熊本の大地震が発生。いつ起こるかかわからない災害には日頃からの備えが大事と再認識したのです。被害に遭われた方の無事と被災地の1日も早い復旧と復興を祈ります。(高)

栗石町公式エクス♪ @shizukukouhou
防災行政無線が聞き取れなかったときは…
電話応答サービス ▶ ☎ 019-692-6371 をご利用ください。

今月の運転手さん TK さん

出身 ▶ 八戸市

現在 ▶ 町内在住

ドライバー歴 ▶ 47 年

あねっこバス歴 ▶ 7 年目

趣味 ▶ ゲーム (特にスーパーマリオ)



TK さんは中学生の頃から車が大好きで、18 歳で免許を取って以来ずっと運転してきました。長年の経験で町の道をよく知り、どの路線も安心して任せられる頼もしさです。

何より大切にしているのが、無事故であること。秘訣は毎朝の習慣にありました。

朝早く起きて体重と血圧を測り、スクワットと突き上げで体を起こし、テレビのクイズで頭を目覚めさせて1日が始まります。「クイズがやりたくて起きるんです」と笑う TK さん。こうして整えた体調が毎日の安全運転を支えています。

物静かな職人肌の中に、確かな技術とやさしさを持つ TK さん。あねっこバスに乗ったら、白い帽子のドライバーさんを探してみてくださいね。



「馬のわらじ」

町歴史民俗資料館の収蔵品をご紹介します!



問 町歴史民俗資料館
入館料 大人 150 円
(高校生以下無料)
開館時間 9 時～16 時
休館日 木曜日定休
☎ 692-3942

8月10日は『道の日』でした。かつて、人が街道を歩くときの履物と言えは草鞋(わらじ)でしたが、馬用のものもありました。

馬の草鞋は馬沓(うまぐつ)とも言い、雪道を歩く時の滑り止めや、砂利道などの悪路を歩くときの蹄の保護に使われました。歌川広重の『東海道五十三次』にも、馬に草鞋を履かせる場面が描かれています。明治時代以降、蹄鉄の普及によって廃れていきましたが、曲り屋同様に馬を大切にした人々の気持ちが伝わってきます。

栗石の情報発信番組 虹の似合うまち栗石町情報 放送予定日のお知らせ

8月21日、9月4日、9月18日(毎月第1・3金曜日) / IBC ラジオ (AM 684kHz) / 8時45分～50分(5分間)